

結成 47 年 新潟発ニューオリンズジャズバンド

Riverside Jazz Band

風間 晶世 / クラリネット & リーダー

山田 洋一 / トロンボーン

佐藤 信吾 / トランペット

井上 博行 / テナー・バンジョー & ボーカル

伊藤 譲一 / ベース

宮尾 益尚 / ドラムス & ボーカル

木藤 将也 / ドラムス

遠藤 純 / ピアノ

トントン (森朋子) / ボーカル



6/29^{SUN}

OPEN 15:00
START 15:30

at 高田世界館
(上越市本町6-4-21)
☎ 025 (520) 7626

TICKET

一般 3,000 円 / U25 1,500 円
(高校生以下無料)

時を越えて鳴り響く、ニューオリンズの鼓動

Riverside Jazz Band

1979年、新潟市内のアマチュア・ミュージシャンによって結成。新潟市音楽文化会館での練習を出発点とし、信濃川の流れにちなんで「川辺で生まれたジャズバンド」の意を込めて命名された。

結成以来、外山喜雄と Dixie Saints、園田憲一と Dixie Kings、北村英治、水森亜土、花岡泳二、森さかえといった実力派アーティストとの共演を重ねてきたほか、New Orleans Rascals、South Side Jazz Band など関西の名門バンドとも共演。1992年には新発田市ニノックスにて、ニューオリンズの John Brunious 率いる N.O. Jazz All Stars とのセッションを行い、1995年には中国・上海と蘇州を巡る親善演奏旅行も実施。上海の名門・和平飯店では現地ミュージシャンとの交流演奏も行われた。

各メンバーの多くが本場ニューオリンズで武者修行を経験しており、その空気感を音に宿す。神戸、新宿、新潟港ジャズフェスティバル、万代ジャズフェスティバル、佐渡能舞台での特別公演、新潟ジャズストリート、新潟音楽祭など、数々のステージでそのサウンドを届けてきた。演奏の中心にあるのは、古き良き時代のデキシード・ジャズ、とりわけ素朴で温かなニューオリンズ・スタイル。演奏者自身の楽しみがそのまま観客へ伝わる、そんなライブ感が持ち味となっている。

メンバーの中で唯一、プロとして活動が続けているのがヴォーカリストのトントン（森 朋子）。トラッドジャズからスウィングジャズまで幅広いレパートリーを持ち、東京・浅草ジャズコンテストではグランプリを受賞。国内の主要フェスティバルに加え、オーストラリアのマントリー・ジャズフェスティバルやベルギーのゲント・ジャズフェスティバルにも出演し、その歌声で多くのファンを魅了している。



ニューオリンズジャズ（デキシードジャズ）とは？

20世紀初頭のアメリカ南部、ニューオリンズを起源とする初期のジャズスタイル。トランペットやクラリネット、トロンボーンが即興的に絡み合うアンサンブルが特徴で、陽気で親しみやすいメロディが魅力。ストリートやダンスホールでも親しまれ、後のスウィングやモダンジャズの礎となった。現在も世界中で愛され続けている“ジャズの原点”。



高田世界館 日本最古級の映画館 国指定登録有形文化財

城下町・高田に残る日本最古級の現役映画館。明治44年（1911年）に芝居小屋として開館し、大正時代に常設映画館となる。以来、100年以上にわたって営業を続ける。擬洋風建築の木造建物は、ギリシャ風の柱や格天井を特徴とし、国の登録有形文化財・近代化産業遺産にも指定されている。劇場建築としての雰囲気を活かし、映画以外にも各種イベントが開催され、そのステージに立ったアーティストに笑福亭鶴瓶、泉谷しげる、小泉今日子、森山直太朗、寺尾紗穂など

チケット
販売中！

一般 3,000 円 / U25 1,500 円
(高校生以下無料)

※25歳以下のチケットは劇場窓口のみでの販売となります。

・劇場窓口
・オンラインストアにて



上越市本町 6-4-21

高田世界館

☎ 025 (520) 7626